

これまでに梶原診療所の訪問診療を受けた腎不全の在宅緩和ケアを受けられた患者様へ

【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

2025年6月14日 第7回日本在宅医療連合学会大会にて、日本在宅医療連合学会と日本透析医学会との合同シンポジウム「末期腎不全患者の緩和医療・ケア」において、「在宅における末期腎不全（ESKD）の緩和ケア ～保存的腎臓療法（CKM）の実践と課題～」というテーマでシンポジストとして講演を行います。そのため、当院における末期腎不全で在宅診療を受けた方について、ACPや死亡場所、死亡原因、治療内容、症状、併存症、提供された治療や緩和ケア等について調査し、在宅医療における腎不全の方への緩和ケア（保存的腎臓療法）の在り方について検討します。

今回の研究では個々の患者さんからの同意取得はせず、代わりに対象となる患者さんへ向けて情報を公開することといたします。以下に研究の概要を示します。

○本研究は、東京ふれあい医療生協倫理委員会での承認を受けて行われます。

- ・研究期間：倫理委員会承認日～2025年5月31日
- ・研究責任者：平原 佐斗司

○対象となる方は以下のとおりです

- ・2011年6月から2025年3月まで在宅診療を行ったESKDを主病名とする方々。

○研究期間

- ・倫理委員会迅速審査後～2025年5月31日

○使用させていただく情報

- ・年齢、性別、基礎疾患、紹介経路や経過、併存疾患とその数、治療内容、ACPの決定要因、死亡場所、死亡原因、等診療録を用いて後方視的に検討する。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、またデータを使用させていただいた方への謝礼等ありません。

○患者さんの情報は個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また調査研究の成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、個人を特定できる情報が公開されることはありません。

○調査研究の結果何らかの知的財産が生じる可能性もありますが、その権利は研究者に帰属します。

○この研究に対して利益相反はありません。

○研究計画書及び関連資料は、ご希望に応じて閲覧（個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限る）することができます。

◆本研究の対象となる方で、今回のデータ使用に同意されない場合やご質問については、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

東京ふれあい医療生協 研修・研究センター 平原 佐斗司
〒114-0004 東京都北区堀船3-2 9-9 電話：03-3911-5171